

東日本大震災の救援物資の寄贈と輸送

参加メンバー（現地に行った方々です）

認定特定非営利活動法人 阪神淡路大震災「1. 17 希望の灯り」

理事 白木 利周 様 袖岡 修一様（元神戸村副代表）

山畑 健太郎様（読売テレビ放送）

東京江戸川 LC L.坂本 潤之輔

東京みやこ LC L.田口 秀明

今回の流れ

3月12日

江戸川 LC L.坂本が認定特定非営利活動法人阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」のメンバーと身体障害者輸送車を搬送の為、宮城県名取市行きを決める。

3月13日

河合ガバナーに内容を話したところ直ぐに賛同、合わせて副幹事団に古着等の持ち寄りをメールにて発信3月14日の定例会に皆が持ち込んでくる事になる。田口Lをドライバーとしてお手伝い頂く事になる。

3月14日

AM7:30 過ぎに石井元ガバナーに大人用おむつを依頼したところ PM3:30 には段ボール 15 箱(1,000 人分)を日本財団に搬入していただく。

キャビネットより金澤 L と久保田 L が吉着等を搬入、PM5:30 頃から田口 L と阿久津 L が荷物積込その後、坂本の荷物（江戸川地区で集めた物資・2 トン車 1 台分）も積込、積込完了後、赤坂警察署にて受付。時間外のところを阿久津 L のおかげで証明書を発行してもらって PM9:00 過ぎに出発。

東北道最初の蓮田サービスエリアにてガソリン 360L 軽油も買う事が出来る。

夜中、東北道も福島に入ると道のアチコチに凸凹亀裂が入っていて、場所によっては一車線になっていたりした。 AM3:00 に直前のサービスエリアに到着、3 時間程仮眠する。

3月15日

AM6:00 過ぎに出発。

まず名取市の重度障害者施設の「ドリームゲート」へ向かう。

ここで神戸と名古屋のボランティア達と合流、ガソリン 360L と軽油 40L を置き、積荷の量が多い我々だけが急速、物資が一番不足している多賀城市役所へと向かうが途中通行止め地点に遭う。

しかし緊急支援の証明書の御蔭で特別に通して貰い現地に到着！ 荷物を見た途端に歓声が上がり以外な事に古着や黒沼 L から頂いた衣料品が一番に体育館に運ばれた。

多分、体育館の中には古着でも衣類を待つ人が沢山居たのだと思われる。必要の無い物が有れば持ち帰りますと現地ボランティアに伝えたところ、「何一つ要らない物は有りません。有難う御座います！」と言って全ての物資を降ろし名取市に戻る。

各ボランティア達と最終打ち合わせをしている時に原発が爆発！ 慌てて東京に戻って来る。

以上

皆様のご厚意で集められた支援物資の一覧です

支援物資内訳	提供者
粉ミルク 生理用品 子供用紙おむつ・紙パンツ (一部大人用も含む) ※金額にして(約 40 万～50 万円)	東京みやこ LC 東京江戸川 LC キャビネット役員有志 東京江戸川 LC L.平野雅久
大人用紙おむつ 段ボール15箱 (1,000人分)	石井元ガバナー
大人用紙おむつ 段ボール4箱+α	江戸川区民生児童委員 金子 敏枝様
衣類 (T-シャツ等) 新品 段ボール 15箱	東京江戸川南 LC L.黒沼 成身
古着 ・ 日用品 2トントラック 約1台分 タオル・毛布・靴・米・石鹸 子供のおもちゃ・ベビーパウダー・歯ブラシ ウェットティッシュ・ポケットティッシュ・他	東京江戸川 LC メンバー キャビネット役員有志 東京蒼天 LC L.平山 智子
電化製品 電子レンジ (新品) 1台 炊飯器 (新品) 1台	東京江戸川 LC L.坂本 潤之輔 東京蒼天 LC L.平山 智子
その他 車輛提供(無償) 4台アルミウィングボデー車 上記車輛往復燃料代 上記車輛運転労力奉仕&荷物積込労力奉仕 上記車輛緊急災害対策車輛 許可申請手続き 荷物積込労力奉仕	東京いすゞ自動車株式会社 石井元ガバナー 東京みやこ LC L.田口秀明 第2副地区ガバナー L.阿久津隆文
日本財団依頼分 ガソリン 360リットル 東北道内スタンドにて購入 軽油 40リットル 肌着 段ボール 5箱 250人分 毛布 段ボール 15箱 150枚 ブルーシート 35～6枚 燃料缶 (20リットル) 48個 燃料缶 (5リットル) 7個 土嚢袋 若干 カセットコンロ 5個 ポンベ 2ケース	日本財団

※計4トントラック1台分になりました。

東京江戸川ライオンズクラブの協力者

L.井村 壽 （会長）	L.丹内 康克
L.佐々木 重行 （幹事）	L.平野 雅久
L.古川 昭夫 （会計）	L.高橋 正治
L.山崎 紀世恵	L.笹崎 義幸
L.和田 俊一	L.神長 浩
L.首代 武男	L.坂本 潤之輔
L.堀 勝	

※順不動

あとがき

13日に企画して、河合ガバナーに快諾を頂き、救援物資を届けるまでに、正味24時間ぐらいの時間しかありませんでした。一部のメンバー及び有志の方々へは、深夜12時ごろに電話連絡をして、また、当クラブのメンバーへは、14日の午後1時にFAXにて連絡しました。

短い時間（3～4時間）の中で、2トン車一台分の救援物資を集めて頂き感謝をしております。

無事に現地に救援物資を届けて来たご報告と、現地の方々から「ありがとう！」の言葉を頂いた事をご報告いたします。

東京江戸川ライオンズクラブ L.坂本 潤之輔

記事作成 東京江戸川ライオンズクラブ L.神長